



<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年4月27日

インドネシア第1四半期 FDI 実現額二桁の伸び

インドネシアの投資調整庁(BKPM)は26日、2021年第1四半期(1~3月)の投資実現額(石油ガス、金融などを除く)が、前年同期比+4.3%の220兆ルピア(約1兆6,500億円)だったと発表した。国内直接投資(DDI)が同-4.2%だったのに対し、海外直接投資(FDI)は112兆ルピア(約8,400億円)で同+14%の伸びとなった。

国・地域別ではシンガポールが26億ドル(約2,805億円)で首位。全体の34%を占めた。2位は中国(10億ドル)で、3位は韓国(9億ドル)。食品・飲料分野の投資があったスイス(4億ドル)は初めてTOP5に入った。日本は案件数では2,032件と2番目に多かったが、投資額では7位に低迷した。

分野別で最も多かったのは、卑金属・金属で17億米ドルだった。



出所: BKPM

以上